

鏡川流域パートナーシップだより No.203 R7.3.6



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

鏡川源流を大冒険！「水源クエストハイキング」！



2月24日(月・振休)に、鏡川流域関係人口講座3期生の藤澤佑介さんが、鏡川上流域の水源を目指すイベント「**水源クエストハイキング**」を開催し、**18名**の参加がありました♪

土佐塾中学校・高等学校で英語教諭を務める藤澤さんは、まちのコイン「ぼっちり」を活用して、「役に立たない塾」というプロジェクトを進めています。

開催のきっかけは、山際からしみ出る水が集まり、大きな川となって海に注がれる「水の旅」にロマンを感じていた藤澤さんが、ある時、鏡川の一部に取水口らしき施設を見つけたことが始まりです。「私がよく遊びに行く土佐山などの飲み水はどこから来ているのだろうか？」と疑問に思い、「この水源を確かめたい！」という衝動から、イベントを企画しました。



藤澤さんのオファーを受けた土佐山平石区長がガイドを務めながら、土佐山平石集落の水源を目指すハイキングがスタート！気なるものを写真に収めながら進みます。

水源地にたどり着くと、子どもたちを中心に、「沢登り大会」が始まりました！**自然の中で、思いのままに、全身を使って大冒険**を楽しみます。



水源では、生き物探しをしたり、焚火を楽しんだり、鏡川源流の神秘的な大自然の中で自由に過ごしました。また、水源の水を使ってコーヒーを淹れたり、カップラーメンを作る体験にも夢中になりました♪ 生活には欠かせない「**水**」を**提供してくれる鏡川**を、より**身近**に感じるきっかけになったのではないのでしょうか。

平石区長のコメント

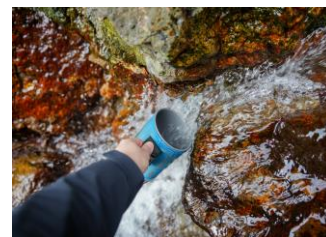
上流域では、地元住民が力を合わせて管理している水道も多いですが、高齢化により難しくなっています。関係人口の皆さんに関心を持っていただき、手伝ってもらえたら嬉しいです！！

★自分にできることで流域の自然に関わっていききたいですね！



「ぼっちり」を通じてユーザー様からコメントが届きました！

「孫にこのイベントの話をする、行ってみたいと言うので、孫と参加させてもらいます」
「大人も子どもと一緒に遊びながら学び、水の流れを追うことで、自然とのつながりを実感する体験が伝わってきました」
「いつも飲んでいる水がどこから来るか、自分も考えることができました」



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android